





- ユーザー ガイド

接続の主要なコントロール

このページは空白です。

テクニカル サポート

使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねています。 問題が発生した場合は、テクニカル サポートまでご連絡ください。

Eメール:	support@faronics.com
電話:	800-943-6422 または 604-637-3333
営業時間:	午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)

お問い合わせ

Web:	www.faronics.com
Eメール:	sales@faronics.com
電話:	800-943-6422 または 604-637-3333
ファックス:	800-943-6488 または 604-637-8188
営業時間	午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)
所在地:	<i>Faronics Technologies USA Inc.</i> Suite 170 – 2411 Old Crow Canyon Road San Ramon, CA 94583 USA
	<i>Faronics Corporation</i> 620 - 609 Granville St. Vancouver, BC V7Y 1G5 Canada

最終更新日: 2007年9月

© 2007 Faronics Corporation. All rights reserved. Deep Freeze および Deep Freeze Mac、Faronics、Faronics Anti-Executable、Faronics System Profiler、FreezeX、Faronics Device Filter Mac、Faronics Power Save、Faronics Power Save Mac、WINSelect は Faronics Corporationの商標および/または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。

このページは空白です。

目次

Device Filter 概要	7
Device Filter について	7
Apple Remote Desktop (ARD) について	7
コマンドライン コントロール機能	7
システム要件	7
Faronics について	7
Device Filter のインストール	8
Device Filter カスタム インストーラを使用したインストール	8
Device Filter Mac 基本インストーラを使用したインストール	8
Apple Remote Desktop からのインストール	8
旧バージョンがある場合のインストール	8
Device Filter のアンインストール	8
Device Filter 環境設定ペインの使用	9
Device Filter の第 1 のユーザーの作成	9
[スタート] タブ	10
[FireWire] タブ	11
[USB] タブ	12
[ネットワーク] タブ	13
[管理] タブ	14
[ロギング] タブ	15
[ユーザー] タブ	17
Device Filter アイコン	18
ソフトウェアの更新の確認	18
付録 I: Device Filter Assistant およびインストーラのカスタマイズ	19
付録 II: Apple Remote Desktop 統合タスク	26
タスクの使用および編集	27
ターゲット コンピュータの [タスク] リストへの追加	28
ARD の出力例	30
コマンドライン スクリプトの例	30

このページは空白です。

Device Filter 概要

Device Filter について

Device Filter Mac は、クライアントに接続するデバイスやリムーバブル メディアを指定お よび管理するためのドライバ レベルのアプリケーションです。本アプリケーションでは、 USB および FireWire、CD/DVD、LAN/無線 Ethernet、モデム、Bluetooth、IR (赤外線) など の接続がコントロールできます。Device Filter Mac は、OS X の [システム環境設定] 内のプ ログラムの環境設定ペインに表示されます。

管理者は、アクセスを禁止した記憶デバイスに 1 回に限りアクセス許可したり、一定の時間に限って許可することもできます。また Device Filter の管理者は、Device Filter Mac の環境設定ペインあるいはユーザー指定のアクティビティ ログファイルを使用して、監視下の任意のデバイスまたは接続の接続アクティビティを追跡できます。

Device Filter Mac は、クライアント レベルでの管理または Apple Remote Desktop (ARD) によるリモート管理が可能です。

Apple Remote Desktop (ARD) について

Apple Remote Desktop は、アップルコンピュータ社の Mac OSX 用デスクトップに対する 完全なデスクトップ管理ソリューションです。Faronics は Apple Remote Desktop の販売 およびテクニカル サポート情報の提供は行っておりません。ARD に関する詳細は、 http://www.apple.com/remotedesktop を参照してください。

コマンドライン コントロール機能

付録 II で ARD との併用について説明しているタスクは、他のサード パーティのコマンド ライン コントロール プログラムでも使用できます。

システム要件

Device Filter の使用には Mac OS X v10.3.0 以上が必要です。

Device Filter はユニバーサル アプリケーションで、Intel および PPC に対応しています。

ARD 統合には Apple Remote Desktop version 2.2 以上が必要です。.

推奨される最小 RAM は 256 MB です。

Faronics について

Faronics は、マルチユーザー環境にあるコンピュータの保護、および管理用ソリューションを目的とした高機能ユーティリティ・ソフトの開発・販売を行う企業です。Faronics の市場をリードするソリューションは、システムの可用性を 100 パーセント確保することで、多くの情報技術専門家やコンピュータ室管理者の日常業務を劇的に改善してきました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics のユーザーを主導としたパワフルなテクノロジー改革を有効に御使用頂いています。1996年に設立された Faronics は、現在米国とカナダの2ヵ所にオフィスがあります。積極的な成長戦略と世界的展望を持つ Faronics は、さらなる新規市場の開拓を目指しています。多様なユーティリティソフトにより、Faronics はこれからも革新的でユニークなソリューションをご提供し、ユーザの生産性向上に貢献して参ります。

Device Filter のインストール

Device Filter のインストールと設定には管理者権限が必要です。

Device Filter は CD-ROM で、または.dmg ファイルをインターネットからダウンロードして 入手可能です。

Device Filter カスタム インストーラを使用したインストール

Device Filter カスタム インストーラは Device Filter Assistant を使用して作成できます。 詳細は付録 I を参照してください。

Device Filter Mac 基本インストーラを使用したインストール

Device Filter を1台のコンピュータにインストールするには、以下の作業を実行します。

- 1. Device Filter.pkg をダブルクリックして、インストール処理を開始します。(設定に よっては、ファイルの拡張子は表示されません)
- 2. 表示されるステップに従ってライセンス許諾を読み、同意します。
- 3. *[インストール]* をクリックすると、Device Filter Mac がインストールされます。Device Filter Mac は [システム環境設定] にある環境設定ペインからアクセスできます。

インストールを完了するには、コンピュータを再起動する必要があります。

Apple Remote Desktop からのインストール

Device Filter は一般的なインストールパッケージファイルとして配布されており、Apple Remote Desktop の [パッケージをインストール] コマンドにより、ネットワークからインス トールできます。詳細は Apple Remote Desktop ユーザー ガイドを参照してください。Apple Remote Desktop を使用した Device Filter のネットワーク経由の操作の詳細は、付録 II を参照 してください。

旧バージョンがある場合のインストール

新バージョンをインストールする前に、旧バージョンの Device Filter をアンインストール することを推奨します (必須ではありません)。

Device Filter のアンインストール

Device Filter をアンインストールするには、ロックアイコン 뉄 をクリックして環境設定ペインのロックを解除します。この際、Device Filter のユーザー名とパスワードが必要です。.

☆ ▼ アイコンをクリックし、メニューから [アンインストール]を選択します。

画面に表示される指示に従って進みます。アンインストールを完了するには、再起動が必 要です。



Deep Freeze を実行中のマシンに Device Filter がインストールされている場合、 正常にアンインストールが実行されるには Mac は非保護状態でなければなり ません。Deep Freeze が保護状態にある場合、アンインストール コマンドが拒 否され、その理由が表示されます。

Device Filter 環境設定ペインの使用

Device Filter の環境設定ペインを起動するには、[システム環境設定] を開き、[その他] に表示されている [Device Filter] アイコンをクリックします。



Device Filter の第1のユーザーの作成

インストール前に Device Filter Assistant から第1のユーザーを指定した場合を除き、Device Filter の第1のユーザーの設定は環境設定ペインへの初回アクセス時に行います。

Device Filter を設定するには、ロック アイコン ់ をクリックして環境設定ペインのロック を解除します。(変更が完了したら、もう一度ロック アイコンをクリックして画面をロッ クし、誤ってその他の変更をしないようにしてください。)

ロックアイコンを初めてクリックした際に、次のダイアログが表示されます。

ユーザ名:	admin	
バスワード:	•••••	-974
確認:		- 7

ユーザー名とパスワードを入力し、確認のためパスワードを再入力して [OK.] をクリックしま 第1のユーザーは、Device Filter の管理者権限を持つユーザーとして扱われます。ユーザー の追加、編集、削除ができるのは Device Filter の第1ユーザーのみです。なお第1ユーザー は削除できません。

[ユーザー] タブでは、第1ユーザー以外に、3人までユーザーを作成できます。これらのユー ザーは Device Filter Administrator となります。環境設定ペインのロックを解除してプログラ ムの設定を変更するには、Device Filter のユーザー名とパスワードが必要です。

[スタート] タブ

[スタート] タブでは Device Filter の有効化をはじめ、「ステルス モード」やカメラ/CD/ DVD の動作など、さまざまなオプションの設定が可能です。



Device Filter によるコントロールをアクティブにするには、[Device Filter の有効化] オプション をチェックします。



Device Filter を有効にすると、設定内容はただちに適用されます。再起動の必要 はありません。ただし、赤外線 (IR) ポートを有効化/無効化する場合は例外で、 再起動するまで変更は適用されません。

ステルス モード

Device Filter を非表示にするには、[有効化されたアイコンをメニューバーで非表示] または [無効化されたアイコンをメニューバーで非表示] をチェックします。

カメラおよび CD/DVD のコントロール

カメラやビデオカメラを許可するには、希望するオプションをチェックします。

ユーザーに読み込み専用で CD/DVD にアクセスを許可するか、書き込み/読み込み両方の アクセスを許可するかをオプションから選択してチェックします。これらのオプション は、内部および外部 CD/DVD ドライブの両方に適用されます。

[FireWire] タブ

[FireWire] タブでは、コンピュータへの FireWire (IEEE 1394) デバイスのマウント方法を設定します。



FireWire デバイスのマウントを拒否するか、読み込み専用または読み込み/書き込み両用で 許可するかをオプションから選択します。

FireWire デバイスの読み込み/書き込みサイズを制限する場合は、所定のフィールドに上限 値を GB (ギガバイト) で入力します。

FireWire デバイスのアクティビティを記録するには、[ログ アクティビティ] をチェックします。ログは、環境設定ペインの [ロギング] タブ内および [ロギング] タブで指定した場所にあるアクティビティ ログに表示されます。



正常に取り出されなかった FireWire ディスクは、読み込み専用でマウントで きません。FireWire で接続された CD/DVD ドライブの動作は、[スタート] タ ブにあるオプションで設定します。

[USB] タブ

[USB] タブでは、コンピュータへの USB デバイスのマウント方法を設定します。



USB デバイスのマウントを許可するかどうか、読み込み専用または読み込み/書き込み両用 で許可するかをオプションから選択します。

USB デバイスの読み込み/書き込みサイズを制限する場合は、所定のフィールドに上限値を GB (ギガバイト) で入力します。

USB デバイスのアクティビティを記録するには、[ログ アクティビティ] をチェックしま す。ログは、環境設定ペインの [ロギング] タブ内および [ロギング] タブで指定した場所に あるアクティビティ ログに表示されます。



キーボードやマウスなどの USB 周辺機器は、Device Filter のコントロールに より影響されることはありません。USB で接続された CD/DVD ドライブは、 [スタート] タブにあるオプションで設定します。

[ネットワーク]タブ

[ネットワーク]タブでは、クライアントで有効にするネットワークの設定や接続を設定します。



次のオプションの中から、コンピュータ上で有効にするネットワーク設定および接続を選 択します。

- LAN Ethernet
- 無線
- モデム
- Bluetooth (モデムのみ)
- IR (赤外線) ポート: このオプションを選択した場合、有効化/無効化の適用に再起動が必要です。

ネットワーク接続のアクティビティを記録するには、[ログ アクティビティ] をチェックし ます。採取したログは、環境設定ペインの[ロギング] タブ内および利用ログ ファイルに表 示されます。

[管理] タブ

[管理] タブでは、記憶デバイスに対して特定の許可を設定します。



無効 に指定しているデバイスの使用を 1 度だけ許可するには、[デバイスのマウントを一度 限り有効化]をチェックします。

無効に指定しているデバイスの使用を一定の時間に限り許可するには、[時間を限りアクセ スを有効化]をチェックします。

これらのオプションを選択した場合、無効に指定されているデバイスがクライアントに接続された際にダイアログ ボックスが表示されます。続行するには、Device Filter のユーザー 名とパスワードを入力する必要があります。

	デバイスがマウントされました	
CD	このデバイスを許可しますか。	
	💽 1 回許可する	
	○ 一定の回数に限り許可する:	分
ユーザ名:		
バスワー	K:	

一定の時間に限ってアクセスを許可する場合は、デバイスを許可する時間(分単位)を所定のフィールドに入力します。アクセス許可が切れる2分前になるとユーザーに警告が表示されます。

[ロギング] タブ

[ロギング] タブでは、管理者が特定のデバイス/接続のアクティビティを確認したり、その 他のロギング オプションを指定できます。[FireWire]、[USB]、[ネットワーク] タブで [ログ アクティビティ] オプションを選択している場合、[ロギング] タブにこれらのアクティビティ が表示されます。

	Device Filter	
▲●		Q
起動 FireWire [USB]	ネットワーク Admin (管理)	パージョン 1.01.070.0060
日付ユーザ	デバイス	動作 大きさ
データを書き込む場所を選択し	てください	
凝縮		選択
(?)		* •
0		
┃ これ以上の変更を防ぐには [ロ・	ック] をクリック	

ロギングデータは、このタブまたは Device Filter のアクティビティ ログファイルで確認できます。

アクティビティ ログ ファイルの名前と保存場所を指定するには (Device Filter Assistant で事前に指定されていない場合)、[選択] をクリックしてファイル名を入力し、希望する保存場所を指定します。



Device Filter Assistant で事前に設定された保存場所が存在しない場合、インス トール時にロギングが無効となり、別の保存場所を指定するよう促す警告ダ イアログボックスが表示されます。

Deep Freeze がインストールされたコンピュータで Device Filter を実行してい る場合は、アクティビティ ログ ファイルを非保護のパーティションに保存し てください。そうしないと、再起動後にログ ファイルが消去されます。 Device Filter では、ログ情報は次の内容別に表示されます。

- [日付] はアクティビティがあった日付を表示します
- [ユーザー] はアクティビティがあったアカウントのローカル ユーザー名を表示します
- [デバイス]は利用された接続の種類またはデバイス名を表示します
- [アクション]は受信、送信、読み込み、書き込みなどのアクションの種類を表示します
- [大きさ] はデータ アクティビティのサイズをキロバイト (K) で表示します

		Device Filter		
- すべて を	を表示		0	
			14-	-ジョン 1.01.070.
起動	FireWire [USB]	ネットワーク Admir	n (管理) ロギン:	グューザ
日付	ユーザ	デバイス	動作	大きさ
07/11/14	jspicer	DragonSack	READ	304 1
07/11/14	jspicer	DragonSack	READ	13728
07/11/14	jspicer	DragonSack	WRITE	361 8
データを書きシ	≧む場所を選択して	ください		
データを書きジ /Users/jspicer	込む場所を選択して /Desktop/LogFile.txt	ください		
データを書きジ /Users/jspicer, 凝縮	込む場所を選択して /Desktop/LogFile.txt	ください		選択

エントリを同じ日付、アクション、ユーザー、デバイスでまとめる (ログ ファイルのサイ ズを縮小できます)には、[*凝縮*] をクリックします。

注意: アクティビティ ログの凝縮は、継続的に実行することも可能です。その場合、新し いデータは凝縮したログファイルに統合されます。



[ロギング] ウィンドウから古いデータを消すには、既存のアクティビティ ログ ファイルを消去するか、ファイル名を変更します。すると空のアクティビティ ログファイルが新たに作成され (ファイル名は変更前と同じ)、[ロギング] ウィン ドウに新しいファイルに記録されたアクティビティが表示されます。

[ユーザー] タブ

[ユーザー] タブではユーザーの追加、削除、編集ができます。Device Filter のユーザーは、 Device Filter の管理者として固有のユーザー名とパスワードを持っています。Device Filter のユーザーは4名まで作成できます。

第1のユーザーは、Device Filter の管理者権限を持つユーザーとして扱われます。ユーザー の追加、編集、削除ができるのは Device Filter の第1ユーザーのみです。なお第1ユーザー は削除できません。

環境設定ペインのロックを解除してプログラムの設定を変更するには、Device Filter のユー ザー名とパスワードが必要です。

0 0	Device Filter		
▲ ▶ すべてを表示		Q	\square
	[USB] ネットワーク Admin (管理)	バージョン 1.01.070 ロギング ユーザ	.0060
	DF ユーザ名		
admin			
追加創除	編集		
		G	*
()			* *
	は[ロック] をクリック		

ユーザーの追加

ユーザーを追加するには [追加] をクリックします。表示されるダイアログに新規ユーザー 名とパスワードを入力し、確認のためパスワードを再入力します。

[OK] をクリックすると、新規ユーザーが [ユーザー] タブに表示されます。

ユーザーの削除

ユーザーを削除するには、削除したいユーザー名を選択して[*削除*]をクリックします。

第1のユーザーは、Device Filterの管理者権限を持つユーザーとして扱われます。第1ユーザーは、ユーザーの追加、編集、削除ができる唯一のユーザーあるため、削除できません。

ユーザーの編集

ユーザー情報を編集するには [編集] をクリックします。表示されたダイアログに、編集するユー ザーの新しいユーザー名と新しいパスワードを入力し、確認のためパスワードを再入力します。

[OK] をクリックするとユーザー情報が更新されます。

Device Filter アイコン

Device Filter がインストールされている場合、メニュー バーに Device Filter アイコンが表示 されます。

有効アイコン 心 は、Device Filter によるコントロールがアクティブであることを示します。

無効アイコン M は、Device Filter によるコントロールがアクティブでないことを示します。

ソフトウェアの更新の確認

インストールされている Device Filter が最新のバージョンかどうかをチェックするには、 ◆ ◆ をクリックし [*更新の確認…*] を選択します。

初期設定のブラウザが起動し、既存のバージョンが最新かどうか、最新バージョンがダウ ンロード可能かどうかを示すページが表示されます。リンクに従ってください。

現在使用中の Device Filter Mac が最新バージョンであるかどうかは、Apple Remote Desktop の [*checkForUpdates*] タスクからも確認することができます。

付録 I: Device Filter Assistant およびインストーラのカスタマイズ

Device Filter Assistant を使用してカスタムの Device Filter インストール パッケージを作成 し、複数のクライアント環境向けにグローバル設定を作成できます。また、使用システム の Apple Remote Desktop (ARD) コンソールに、Device Filter Assistant 専用の「保存したタス ク」を直接インストールすることもできます。カスタマイズされた Device Filter インストー ルパッケージには、ARD タスクは含まれていません。ARD または ARD エージェントが起 動していると、タスクのインストールは正常に実行されません。

[Device Filter Assistant] を実行するには、以下の作業を行ってください。

1. プログラムのアイコンをダブルクリックして [Device Filter Assistant] を開きます。 [紹介] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant
	はじめに
	このアブリケーションにより Device Filter にクライアント用カスタムインス トーラを作成し、また使用しているシステムの Device Filter に Apple Remote Desktop のタスクをインストールすることができます。
	[戻る] [次へ]

2. [次へ]をクリックします。[Device Filter タスク] 画面が表示されます。



 Device Filter Mac 固有のタスクを現在使用中のコンピュータの ARD にエクスポートする場合は、[はい。タスクをインストールします] ボックスをチェックします。 ARD または ARD エージェントが実行中の場合、ダイアログが表示され、ARD をただちに終了するか後で終了するか、2 つのオプションから選択できます。Device Filter タスクをインストールできるのは、ARD を実行していない時のみです。希望のアクションを選択して [次へ]をクリックします。

[Device Filter カスタムインストーラ] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant
	Device Filter Custom Installer
A .	Device Filter にクライアント用カスタムインストーラを作成しますか。
	✔ はい。カスタムインストーラを作成します。
	[戻る] [次へ]

4. クライアント用カスタム インストーラを作成するには、[はい。カスタムインストー ラを作成します]を選択し、[次へ]をクリックします。

[Device Filter アドミニストレータ] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant
	Device Filter Administrator
	クライアント用カスタムインストーラと Apple Remote Desktop のタスクに使用する Device Filter Administrator の名前とパスワードを入力してください。 ユーザ名: パスワード: 確認:
	[戻る] [次へ]

5. カスタム インストーラで作成し、Device Filter Mac の Apple Remote Desktop タスク で使用する Device Filter Administrator のユーザー名とパスワードを入力します。パ スワードを再入力して確認し、[次へ]をクリックします。 [スタートアップ コントロール] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant
	Startup Control
A .	☑ Device Filter の有効化
	 □ 有効化されたアイコンをメニュー バーで非表示 □ 無効化されたアイコンをメニュー バーで非表示
	 ✓ 常にカメラを許可する ✓ 常にビデオ カメラを許可する
	 ✓ CD/DVD 読み込み専用を許可する ✓ CD/DVD の書き込みを許可する
	データを書き込む場所を選択してください
	No log path chosen.
	選択
	[戻る] [次へ]

6. [スタートアップ コントロール] 画面では Device Filter の有効化をはじめ、「ステルス モード」やカメラ/CD/DVD のコントロールなど数々のオプションを設定します。

Device Filter によるコントロールをアクティブにするには、[Device Filter の有効化] オプションをチェックします。

ステルス モード

Device Filter を非表示にするには、[有効化されたアイコンをメニューバーで非表示] または [無効化されたアイコンをメニューバーで非表示]をチェックします。

カメラおよび CD/DVD のコントロール

カメラやビデオカメラを許可するには、希望するオプションをチェックします。

ユーザーに読み込み専用で CD/DVD にアクセスを許可するか、書き込み/読み込み 両方のアクセスを許可するかをオプションから選択してチェックします。これら のオプションは、内部および外部 CD/DVD ドライブの両方に適用されます。

デバイスおよび接続のアクティビティを記録する場合は、[選択] をクリックして ファイル名を入力し、希望する保存場所を指定します。



この際、ターゲットマシン上に存在する場所を選択してください。指定 されたアクティビティログの保存場所がクライアント上に存在しない 場合、インストール時にロギングが無効となり、別の保存場所を指定す るよう促す警告ダイアログボックスが表示されます。

Deep Freeze がインストールされたコンピュータで Device Filter を実行している 場合は、アクティビティ ログ ファイルを非保護のパーティションに保存して ください。そうしないと、再起動後にログ ファイルが消去されます。

0 🖯 🔿	Device Filter Assistan	t
	USB Control	
1.	 ○ マウントを無効にする ○ マウントを読み込み専用で許可す ● マウントの読み込みと書き込みを ○ 次のサイズ (GB) 未満の場合、マ 	「る 「許可する ウントの読み込みと書き込みを許可する
	□ ログ アクティビティ	MB
		(戻る) (次へ)

[次へ]をクリックします。[USB コントロール] 画面が表示されます。

7. *[USB コントロール]* 画面では、コンピュータへの USB デバイスのマウント方法を 設定します。

USB デバイスのマウントを許可するかどうか、読み込み専用または読み込み/書き込み 両用で許可するかをオプションから選択します。USB デバイスの読み込み/書き込みサ イズを制限する場合は、所定のフィールドに上限値を GB (ギガバイト) で入力します。

USBのアクティビティを監視するには、[ログアクティビティ]をチェックします。 ログは、環境設定ペインの [ロギング] タブ内および [ロギング] タブで指定した場 所にあるアクティビティ ログに表示されます。

[次へ]をクリックします。[FireWire コントロール] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant	
	FireWire Control	
A.	 ○ マウントを無効にする ○ マウントを読み込み専用で許可する ● マウントの読み込みと書き込みを許可 ○ 次のサイズ (GB) 未満の場合、マウン 	可する ^トの読み込みと書き込みを許可する
	ログ アクティビティ	GB
		[戻る] [次へ]

8. [FireWire コントロール] 画面では、コンピュータへの FireWire (IEEE 1394) デバイス のマウント方法を設定します。

FireWire デバイスのマウントを拒否するか、読み込み専用または読み込み/書き込み両用 で許可するかをオプションから選択します。FireWire デバイスの読み込み/書き込みサイ ズを制限する場合は、所定のフィールドに上限値を GB (ギガバイト) で入力します。

FireWire のアクティビティを監視するには、[ログ アクティビティ] をチェックしま す。ログは、環境設定ペインの [ロギング] タブ内および [ロギング] タブで指定した場 所にあるアクティビティ ログに表示されます。

USB および FireWire で接続された CD/DVD ドライブのコントロールは、 [スタートアップコントロール] 画面にあるオプションで設定します。

[次へ]をクリックします。[ネットワークコントロール] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant	
	Network Control	
A ·	☑ LAN Ethernet の有効化	
/ / /	── Wireless Ethernet の有効化	<u></u>
	□ Modem の有効化	
	□ Bluetooth の有効化	(
	□ IR ボートの有効化	0
	🗌 ログ アクティビティ	
	([戻る] [次へ]

- 9. [ネットワーク コントロール] 画面では、クライアント上で有効にするネットワークの設定や接続を設定します。
 - LAN Ethernet
 - 無線
 - モデム
 - Bluetooth (モデムのみ)
 - IR (赤外線) ポート

ネットワーク接続のアクティビティを記録するには、[ログ アクティビティ] をチ ェックします。ログは、環境設定ペインの [ロギング] タブ内および [ロギング] タ ブおよびアクティビティ ログに表示されます。

[次へ]をクリックします。[Administrator オプション] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant	
	Administrator オプション	
	 □ デバイスのマウントを一度限り有効化 □ 時間を限りアクセスを有効化 	
		[戻る] [次へ]

 [Administrator オプション] 画面では、特定の権限に関するオプションを有効にします。
 無効に指定しているデバイスの使用を1度だけ許可するには、[デバイスのマウント を一度限り有効化]をチェックします。

無効に指定しているデバイスの使用を一定の時間に限って許可するには、[時間を 限りアクセスを有効化]をチェックします。

[次へ]をクリックします。Device Filter インストーラの選択画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant
	Device Filter Installer を選択してください
	クライアント用カスタムインストーラのベースとなる Device Filter インス トール バッケージを選択してください。
	/Tiger/ユーザ/jspicer/デスクトップ/DF_1.01.070.0060.pkg
	選択
	[戻る] [次へ]

11. [選択]をクリックして、Device Filter Mac フォルダにある Device Filter Mac インストー ラパッケージ (Device Filter.pkg) の場所に移動します。あるいは、パッケージファイル を [選択] ダイアログ画面へとドラッグします。[次へ] をクリックします。[保存場所 の指定] 画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant
	保存場所
A ·	クライアント用カスタムインストーラの保存場所を選択してください。
	No location chosen.
	選択
	[戻る] [次へ]

12. [選択] をクリックします。標準の [保存] ダイアログが表示されます。クライアント用カ スタム インストーラを保存する場所を指定して選択します。あるいは、希望する保存場 所を [選択] ダイアログ画面にドラッグ&ドロップします。[次へ] をクリックします。

クライアント用カスタムインストーラが正常に作成され、Device Filter タスクが ARD にインストールされたことを示す最終画面が表示されます。

000	Device Filter Assistant
	完了しました
A.	クライアント用カスタムインストーラの作成に成功しました。 Device Filter のタスクをインストールできませんでした。
V	
	[戻る] 中止

13. [終了]をクリックして [Device Filter Mac Assistant] を終了します。

付録 II: Apple Remote Desktop 統合タスク

[Device Filter Assistant] は、Apple Remote Desktop で使用するタスクをインストールできま す。これらのタスクを供給、または起動ポイントとして使用することで、ARD で Device Filter Mac を制御できます。Assistant を実行すると、次のように ARD にタスクがインストー ルされます。

00	Remote Desktop				\bigcirc
				Q	
				7 4 11 4	
	名前 名前	▲現在の状況	現在のアプリケーション	現在のユーザ	IP 7 K M
Scanner	🔲 eMac	オフライン	-	-	1997 -
Daap Freeze	iMac G5	オフライン	-	-	0.0.0.0 -
DeepTreeze	🗐 image (5)	オフライン		-	1989 -
DeepFreeze.mapAnosers	JohnSpicersiMacG5	オフライン	-	-	1974 1.
Device Save	JSiMacIntel	オフライン	-	-	1901 1.
Power Save	JSIntelMacMini	オフライン	-	-	0.0.0.0 1.
Device Filter	JSMacIntel	使用可能	Remote Desktop	John Spicer	104 1.
DeviceFilter:checkForupdates	JSMacMiniPPC_Tiger	使用可能	Systemeinstellungen	John Spicer	1900 1.
DeviceFilter:addUser	JSPowerMacG5	不明	-	-	1905 -
DeviceFilter:allowCameras	PowerBook	オフライン	-	-	1921 -
DeviceFilter:allowCDDVDMounting	📃 💷 xpalak	ユーザ名と…ありません	-	-	1984 -
DeviceFilter:allowVideoCameras					
DeviceFilter:deleteUser					
DeviceFilter:disable					
DeviceFilter:disableBluetooth					
DeviceFilter:disableCDDVD					
DeviceFilter:disableIR					
DeviceFilter:disableLANEthernet	U				
DeviceFilter:disableModem					
DeviceFilter:disableOneTimeDeviceMounting					
DeviceFilter:disableWireless					
DeviceFilter:dontCameras					
DeviceFilter:dontCDDVDMounting					
DeviceFilter:dontlogFireWire					
DeviceFilter:dontlogNetwork					
DeviceFilter:dontlogUSB					
DeviceFilter:dontVideoCameras					
DeviceFilter:editUser					
DeviceFilter:enable					
DeviceFilter:enableBluetooth					
DeviceFilter:enableCDDVD					
DeviceFilter:enableIR					
DeviceFilter:enableLANEthernet					
DeviceFilter:enableModem					
DeviceFilter:enableOneTimeDeviceMounting					
DeviceFilter:enableWireless	Ļ				
DeviceFilter:hideDisabledIcon			******) 4 +
+	+ - 11 台のコンピュータ 選択数	t: 1			4

注意: ARD 2.2 では、Device Filter 固有のタスクは名前付きのフォルダではなく、[*保存した タスク*] フォルダに保存されます。

下の表に各タスクの機能を示します。「*status.*」以外のタスクは Device Filter Mac の環境設定ペインでも設定可能です。

タスク	機能
addUser	新規ユーザーをターゲット コンピュータに追加する
allowCameras	ターゲット コンピュータへのデジタル カメラの接続を許可する
allowCDDVDMounting	内部/外部 CD/DVD ドライブを読み込み専用でターゲット コン ピュータにマウントできるよう許可する
allowVideoCameras	ターゲット コンピュータへのビデオ カメラの接続を許可する
deleteUser	ターゲットコンピュータからユーザーを削除する
disable	ターゲット コンピュータのDevice Filter 保護を無効にする
disableAdminCanAuthorizeForTime	デバイスの使用を一定の時間に限って許可するオプションを 無効にする
disableBluetooth	ターゲット コンピュータの Bluetooth 接続を無効にする
disableCDDVD	内部/外部 CD/DVD ドライブを読み込み/書き込み両方で ターゲットコンピュータにマウントできるよう許可する
disableIR	ターゲット コンピュータの赤外線接続を無効にする
disableLANEthernet	ターゲット コンピュータの LAN Ethernet 接続を無効にする

disableModem	ターゲット コンピュータのモデム接続を無効にする
disableOneTimeDeviceMounting	デバイスの使用を1度だけ許可するオプションを無効にする
disableWireless	ターゲット コンピュータの無線 LAN Ethernet 接続を無効にする
dontCameras	ターゲット コンピュータへのデジタル カメラの接続を無効にする
dontCDDVDMounting	内部/外部 CD/DVD ドライブを読み込み専用でターゲット コンピュータにマウントできないようにする
dontlogFireWire	FireWire 接続アクティビティのロギングを無効にする
dontlogNetwork	ネットワーク接続アクティビティのロギングを無効にする
dontlogUSB	USB 接続アクティビティのロギングを無効にする
dontVideoCameras	ターゲット コンピュータへのビデオ カメラのマウントを無 効にする
editUser	ターゲット コンピュータのユーザー名とパスワードを編集する
enable	ターゲット コンピュータの Device Filter 保護を有効にする
enableAdminCanAuthorizeForTime	デバイス使用を一定の時間に限って許可するオプションを有 効にする
enableBluetooth	ターゲット コンピュータの Bluetooth 接続を有効にする
enableCDDVD	内部/外部 CD/DVD ドライブの読み込み/書き込みのマウント を有効にする
enableIR	ターゲット コンピュータの赤外線接続を有効にする
enableLANEthernet	ターゲット コンピュータの LAN Ethernet 接続を有効にする
enableModem	ターゲット コンピュータのモデム接続を有効にする
enableOneTimeDeviceMounting	デバイスの使用を1度だけ許可するオプションを有効にする
enableWireless	ターゲット コンピュータの無線 LAN Ethernet 接続を有効にする
hideDisabledIcon	Device Filter メニュー バーの無効アイコンを非表示にする
hideEnabledIcon	Device Filter メニューバーの有効アイコンを非表示にする
logFireWire	FireWire 接続デバイスのアクティビティをロギングする
logNetwork	ネットワーク接続 (Ethernet、Bluetooth、無線) のアクティビティ をロギングする
logUSB	USB 接続デバイスのアクティビティをロギングする
setFireWireOptions	FireWire デバイスの接続オプションを設定する
setUSBOptions	USB デバイスの接続オプションを設定する
showDisabledIcon	ターゲット コンピュータの Device Filter メニュー バーに <i>無効</i> アイコンを表示する
showEnabledIcon	ターゲット コンピュータの Device Filter メニュー バーに有効 アイコンを表示する
status	ターゲット コンピュータの Device Filter ステータスを表示する
uninstall	ターゲット コンピュータから Device Filter をアンインストール する
version	ターゲット コンピュータの Device Filter のバージョンを表示する

タスクの使用および編集

タスクを使用するには、それぞれのタスクにユーザー名やパスワードなど特定のサイト情報を追加して、編集しておく必要があります。タスクを実行するには、次の条件および設定を ARD に適用する必要があります。

- タスクに対するターゲットコンピュータを必ず指定する
- コマンドを実行するために、ターゲットコンピュータのユーザを必ず指定する

一般的に、コマンドは次のような構造になります。

<path>/CLI <username> <pwd> <commandname> [<parameter1> .<parameterN>]

ここで、<path> はプログラムのインストール場所、<username> はユーザー名、<pwd> はパ スワード、<commandname> はサポートされているコマンドを指します。パラメータの一覧 を表示するには、[<parameter1>..<parameterN>] を使用します。

例:

1. status タスク - /Library/Application\ Support/Faronics/DeviceFilter/CLI "admin" "password" status

ここで、/Library/Application\ Support/Faronics/DeviceFilter/CLI はプログラ ムのインストール場所、admin はユーザー名、password はパスワード、status は 希望するコマンドです。

2. setUSBOptions タスク - /Library/Application\ Support/Faronics/DeviceFilter/ CLI "admin" "password" setUSBOptions 0-3 size

ここで、/Library/Application\ Support/Faronics/DeviceFilter/CLI は プログラムのインストール場所、admin はユーザー名、password はパスワード、 setUSBOptions は希望するコマンドです。0-3 (環境設定ペインの [USB] タブにある オプションに対応 - 0=マウントを無効にする、1=マウントを読み込み専用で許可 する、2=マウントの読み込みと書き込みを許可する、3=次のサイズ未満の場合、 マウントの読み込みと書き込みを許可する)は1番目のパラメータ、size (1番目の パラメータで3を選択した場合、USB デバイスの最大サイズ(MB))は2番目のパラ メータです。



uninstall タスクはターゲット コンピュータのルートとして実行する必要があり ます。そうしなければ、Device Filter Mac のすべてのコンポーネントをアンイン ストールする許可が得られません。Deep Freeze を実行中のマシンに Device Filter がインストールされている場合、正常にアンインストールが実行されるには Mac は非保護状態でなければなりません。Deep Freeze が保護状態にある場合、 アンインストール コマンドが拒否され、その理由が表示されます。

ターゲット コンピュータの [タスク] リストへの追加

このセクションでは、ARD で Device Filter 固有のタスクを操作する基本的な方法について 概説します。ARD および ARD タスクの詳しい操作方法については、ARD ユーザーマニュ アルまたは ARD のヘルプ ファイルをご覧ください。

タスクを実行するには、タスク実行のターゲットとなるコンピュータが必要です。タスク 実行のターゲットとなるコンピュータを 1 台または複数追加するには、以下のステップを 実行します。 左側のカラムで、指定したコンピュータをターゲットとするタスクをダブルクリックします。
 [タスクの編集]ウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部のダイアログには、タ

スクに割り当てられた指定コンピュータがリストされています。コンピュータをリストに追加する前に、そのコンピュータは[コンピュータなし]を読み取ります。
2. 希望するクライアントまたはクライアント グループを、[すべてのコンピュータ] リストにあるコンピュータからダイアログにドラッグ&ドロップします。特定の

- タスクに割り当てられたコンピュータの数がウィンドウ下部に表示されます。
- 3. [保存]をクリックします。

以下の図は、ターゲットコンピュータの現在のコンソールユーザで実行するよう設定された、 enable タスクです。

00	Devic	eFilter:enable			
UNIX בדי	/ドを送信	テンプし	レート: なし		\$
/Library/Application	\\ Support/Faronics/DeviceFilter/CL	J "admin" "admin" enal	ble		
/bin/bash を使って	実行する UNIX コマンドを入力しま	ます。			
コマンド	を実行するときのユーザ名:	💽 対象コンピュー	タの現在のコン	ソールユーザ	
		◯ ユーザ:			
	コマンドの実行結果:	☑ すべての出力を	表示		
بقد وتر		40.50			
名时 JSMacMiniPP	C_Tiger	▲ 			
1 台のコンピュータ					
予約			保存	送信	\supset

各タスクで、ターゲット コンピュータに対する Device Filter ユーザー名およびパスワー ドを使用できるよう編集する必要があります。上の例では、Device Filter ユーザー名は admin、Device Filter パスワードは admin です。[Deep Freeze Assistant] の設定によっては、 タスクにはすでに名前とパスワードが設定されています。

ARD の出力例

次の図は、Status 関数の出力例を示しています。ターゲットのステータスを表示させるに は、Apple Remote Desktop の [タスクの編集] ウィンドウで [*すべての出力を表示*] チェック ボックスを選択しておく必要があります。

	DeviceFilter:status 14/11/07 5:01 PM	
プリント 書き出し		
対象コンピュータ	▲ 状況	
JSMacMiniPPC_Ti	aer 📀 "	
	^ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
JSMacMiniPPC_Tig	er (192.168.2.100)	
Application Status		
Enabled = TRUE		
Expired = FALSE		
Number Of Users = 1		
Admin Can Authorize For Ti	me = FALSE	
Enable Bluetooth = FALSE		
Enable CD & DVD = TRUE		
Enable IR Port = FALSE		
Enable Landline Lan = TRUE		
Enable Modem = FALSE		
Enable Wireless Internet – F	ALSE	
Always Allow Cameras = TR	UE	
Always Allow Video Camera	s = TRUE	
Always Allow CD & DVD = T	RUE	
Hide Disabled Icon = FALSE		
Hide Enabled Icon = FALSE		
Log Firewire = FALSE		
Log Network = FALSE		
Log USB = FALSE		
Enable One-time Device Mo	unting = FALSE	
Firewire Mount Options		
Allow Mounting Read/	Write	
USB Mount Options		
Allow Mounting Read/	Write	

コマンドライン スクリプトの例

Device Filter Mac タスクにより、管理者は Device Filter Mac クラインアントの電力使用をよ り柔軟に管理できます。これらのタスクは、複数の異なる他社製エンタープライズ管理ツー ルおよび/または中央管理ソリューションと組み合わせてお使いいただけます。これには、 SSH 経由でリモート ワークステーションに接続する際のターミナルでのコマンド実行が含 まれます。

enable コマンドを使用したスクリプトの例を次に示します。

Library/Application\Support/Faronics/DeviceFilter/CLI admin password enable setUSBOptions コマンドを使用したスクリプトの例を次に示します。

Library/Application\Support/Faronics/DeviceFilter/CLI admin password setUSBOptions 3 512

これらの例において、admin は有効な Device Filter ユーザー、password はそのユーザーのパス ワードです。2 番目のスクリプト例の 3 は、設定した最大サイズ未満まで USB デバイスのマウ ント (読み込み/書き込み) を許可するオプション、512 は設定した最大サイズ (MB) です。

このスクリプト例を修正すれば、24、25 ページのタスク表に記載されたすべてのタスクを 実行できます。